

APNIC26における提案事項のご紹介

2008年7月23日

JPNICオープンポリシーミーティング

社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター

IP事業部 奥谷泉

APNIC26における提案

※今後追加される
可能性もあります

パネルにて
紹介済

分類	提案タイトル	概要
IPv4アドレス の枯渇に向 けた提案	prop-050: IPv4アドレスの移転	APNIC配下のLIR間のIPv4アドレス の移転を/24単位で認める
	prop-055: IANA RIRへの最後の IPv4アドレスの分配	各RIRへ一律/8を1ブロックずつ分配 する
	prop-062: APNICにおける最後の /8の分配	1組織一律/22の分配に限定する
	prop-063: IPv4アドレス割り振り期 間の縮小	割り振りを認める期間を1年から6ヶ 月に縮小する
	prop-066: 歴史的経緯を持つPIア ドレスの効率的な利用	LIRの追加割り振り申請時に歴史的 PIも利用率に含めて算出する
AS番号に関 する提案	prop-061: 文書記述用のAS番号 空間の定義	文書に例として記述するためのAS 番号空間の定義
	prop-065: APNICによる4バイト AS番号の表記変更	表記をASDOTからASPLAINへ変 更
	prop-064: 4バイトAS番号配布ポ リシーの変更	2009年1月～2010年1月までにもう 1ステップ加える

IPv4枯渇
ポリシー動向
にて紹介済

prop-062: APNICにおける 最後の/8の分配

□ 目的

- IPv4枯渇後の状況に備える
 - 新規の事業者: IPv4インターネットへ接続するために必要なIPv4アドレスの分配
 - 既存の事業者: IPv6への移行準備
 - 予期せぬ事態に備える

□ 概要

- APNICの最後の/8からの分配は1LIRにつき、/22に限定する
 - 最小割り振りサイズが縮小した場合、分配サイズもこれに合わせる
 - /22の分配はIPv4アドレス枯渇後の状況に備えるためであり、既存の事業者のグローバルIPv4を利用する顧客用に利用することは想定していない
- 予期せぬ事態に備えて/16の空間をリザーブする
 - LIR向けの/22の分配が完了しても用途が確定しない場合、当該リザーブアドレスはLIRへの/22の分配用に回す

prop-063:IPv4アドレス 割り振り期間の縮小

□ 目的

- できるだけ多くの組織への残りのIPv4アドレスの分配を受け
ける機会を与える

□ 概要

- IPv4アドレスの割り振り申請時に認められる需要を最大1
年分から半年分に縮小する

prop-066:歴史的経緯を持つPIアドレス の効率的な利用

□ 目的

- 歴史的PIアドレスの効率的な利用の促進
 - 歴史的PIを効率的に利用せずに残り少ないIPv4アドレスの分配を追加で受けるのは理にかなっていない

□ 概要

- 追加割り振り申請時の審議対象に歴史的PIも含める
 - すべてのAPNIC管理下の歴史的PIが対象
 - 課金への影響はない

prop-064: 4バイトAS番号配布ポリシーの変更

□ 目的

- 4バイトAS番号のより積極的な利用促進による円滑な移行の実現

□ 概要

- 現在のポリシーで定義されている2009年1月と2010年1月の間にもう1ステップを加える
 - 2009年1月 デフォルト4バイトASを分配
2バイトを希望する場合はその分配も認められる
 - 2009年x月 デフォルト4バイトASを分配
2バイトを希望する場合は必要性の実証が必要
 - 2010年1月 2バイト・4バイトの区別のない分配

このステップを追加

Q&A

